

平成 23 年度当初予算編成方針

【燕市の予算編成】

国においては、「新成長戦略」を着実に推進し、元気な日本を復活させるために財政規律を維持しつつ、国民目線・国益に立脚した予算構造に改めながら経済成長や国民生活の質の向上を実現するため、ムダづかいの根絶の徹底や不要不急な事務事業の大胆な見直しにより、新たな政策・効果の高い政策に重点配分する財源を確保することが必要であり、予算の構造改革が不可避であるとしている。

当市においては、度重なる経済情勢の不振による市税の減収並びに福祉・医療関係経費の自然増、加えて、合併後の建設事業の進捗に伴う公債費の増加により財政状況は大変厳しいものとなっている。

また、国の政権交代後の地方財政対策は平成 23 年度においても不透明で流動的な状況であることから、地方交付税・国庫補助金などの財源確保が懸念されているところである。このような財政状況の中で、事業のスクラップ・アンド・ビルド及びペイアズユーゴー原則を基本に、「日本一輝いているまちづくりプラン」を着実に進めるための重点施策である「産業の振興」・「未来の燕を担う子どもたちの育成」・「医療・福祉の充実」などの各事業に重点的に取り組むものとする。

なお、平成 23 年度においても現行制度等を基に市税、交付税等の一般財源総額を見込み、経費区分毎に一般財源ベースで枠配分を行い、予算編成作業を進めるが、国の地方財政対策等が明確になった時点で大幅な見直しが生じる場合を想定しながらの予算編成とする。

平成 23 年度の当初予算においては、標記の予算編成方針を踏まえ、将来を見据えた財政運営に繋がるよう各施策の検証を一つひとつ行い予算編成を行った。

依然として厳しい経済環境の中、産業の活性化に取り組み、教育環境の整備並びに医療福祉の均衡ある充実を図り、将来に明るい展望が開けるよう新規事業に重点的な予算配分を行う積極型予算を編成した。